

連載 | 両立 WOMAN No.53

ウエディングプランナー兼営業として職場復帰したのは、所属会社で初めてという八木有紀子さん。それだけに「後輩たちに『出産、育児をしながらでも仕事はイキイキ続けられる』と、私自身で証明したい」という気持ちもあるそうです。そんな彼女が実際にどんな両立ライフを送っているのか、苦労も含めて語っていただきました。



(株)ときわ 営業本部 営業ディレクター 八木 有紀子さん

イキイキ仕事をしているねと夫からも言われる天職に

◎八木さんはまったくの別業種から転職されたのですね。

大学卒業後、自動車販売会社で働いていましたから、ウエディング業界はまったくの別世界でした。でも「素敵だなあ」とずっと憧れは持っていたので、思いきって転職して本当によかったと思います。夫は自動車販売会社時代の後輩で、職場恋愛の時は周囲には黙っていました。交際中に転職しましたが、これは『社内恋愛禁止!』という規則があったわけではなく(笑)、ただ単に30歳を前にして、今やりたいことをやろうと私が思ったタイミングの問題でした。

当時彼氏だった夫には「いいんじゃない、やりなよ」と背中を押してもらいました。二人共「ウエディングプランナーってかっこいい!」と思っていたんです。華やかで優雅な仕事というイメージで、もちろんそういう面もあるのですが、実際は地味な事務仕事の山と肉体労働ですよ(笑)。

(株)ときわに入社して、半年間は衣裳部でお世話になってから、榎野倶楽部という式場でウエディングプランナーになりました。配属されて5カ月後にデビューしたのですが、初めてのお客さまのことはよく覚えています。今思うと本当に申し訳なかったのですが、「何か見落としがあるのではないか」「コミュニケーションがちゃんと取れているか」と心配で、10回くらい打ち合わせにお越しいただいてしまいました。

仕事が面白くて大好きで、人生のほとんどを仕事につぎ込んでいたといっても過言ではないくらい。夫はそういう私を見て「イキイキしているね」と言ってくれました。

◎その状態では、出産のタイミングがなかなか難しかったのでは？

夫が主任に昇格したことで結婚という運びになったのですが、お互いに仕事が面白くて忙しくて、二人共いずれば子どもがほしいと考えていましたが、30代の中盤までは「仕事が軌道に乗るまで」と思って、仕事に打ち込んでいました。そろそろ子どもをと思ってからは、なかなか子どもに恵まれず、やっと生まれたのが2年前だったのです。でも、今から思えばそれもタイミングがよかったのかもしれない。2014年にプランナーからディレクター(営業)中心に仕事が変わって、やや落ち着いてきた16年に子どもが生まれましたから。

出産1カ月前から産休に入ったのですが、それまでもつわりと頭痛がひどくて、起き上がれない日もありました。そういうときはフレックスタイム制を利用して、とにかくひたすら横になって、やっと起き上がれるようになった夕方から出勤なんてことも。周囲に助けってもらいました。

社内に、私よりも先輩のワーキングマザーは何人かいるのですが、プランナー兼ディレクターで職場復帰した人はいなくて、たいしては式場案内や衣裳部などに異動して復帰していました。当然私もそうなると思っていたら、上司から「キミはディレクター兼プランナーで戻ってきてね。席を空けておくから」と言われ、びっくりです。それだけ期待されているとうれしかった反面、プランナーの後輩たちにとって「出産、育児をしながらでもプランナーが続けられるよ!」という前例になると思うと、プレッシャーも感じました。

復帰当初は「今まで通り、全力で仕事をして結果を出したい」とがむしゃらでしたが、実際には今まで通りにはいきなりありません

(笑)。周囲に迷惑をかけていると思ひ、落ち込むこともありましたが、それを言っていたら育児をしながらでは働けないことになってしまいます。むしろ今までのプライベートも何もかもつぎ込んでいた仕事の仕方を改めて、凝縮した働き方をしようと思ひ直しました。

◎具体的にはどのような働き方に変ったのですか？

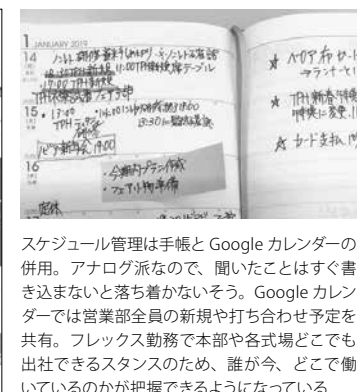
平日はフレックスタイム制を利用して、朝・昼の営業を担当し、夜は別の担当に引き継いでいます。土日は会社の事業所内保育園に子どもを入れることができたので、土日は一日がっつり仕事をしています。職場にいられる時間は限られているので、仕事の優先順位を付けて、効率よくこなすように心掛けています。

でも全部自分で抱え込むのは無理、というのも常に頭の隅に置いています。人に任せられるものは「お願いします」と任せる。自分がフルに働けなくて、周囲に「申し訳ない」「すみません」と思っているより、「これは持ち回り」と思うようにしています。出産や育児でなくても、怪我や病気だあって、みんな助けてほしいときが来るんですから。

一日のスケジュール

6:20	起床
7:00	子どもの朝食や保育園準備
8:10	出社途中子どもを保育園へ
9:00 ~ 18:00 過ぎ	業務時間
18:30	保育園お迎え
19:30	夕食
20:00	入浴
20:30	子ども寝かしつけ
21:30	家事や仕事のメールチェック、自由時間
23:30	就寝

※フレックス制なので、中抜けなどして買い物に行くこともありますし、買い物の量が少ない時は保育園前に買い物を済ませます。



スケジュール管理は手帳と Google カレンダーの併用。アナログ派なので、聞いたことはすぐ書き込まないと落ち着かない。Google カレンダーでは営業部全員の新規や打ち合わせ予定を共有。フレックス勤務で本部や各式場どこでも出社できるスタンスのため、誰が今、どこで働いているのかが把握できるようになっている。



私が申し訳なく思っていたら、これから育児をする後輩もみんな「申し訳ない」「申し訳ない」って働かなくなってしまう。自分で自分をがんじがらめにして頑張り過ぎていたら続きません。

仕事だけでなく、家庭も同じですね。私は実母にすごく助けてもらっています。実家は自営業で、母はその社員として働いていますが、普通の会社員と比べると融通が利く方です。例えば「子どもが熱を出した! 保育園にお迎えに行つて!」というとき、私の代わりにお迎えに行ってくれます。

その母もどうしても都合がつかないときは、夫が「ちょっと子どもを迎えに行つてきます!」と、外回りの合間を縫ってお迎えに行つてくれたりもします。夫は休日返上で仕事になってしまうことも多く、平日は帰宅が22時以降というのも珍しくないので、あまり家事育児に関わっていません。彼の担当は洗濯機のスイッチを入れる(笑)、後は気が付いたら掃除機をかけてくれます。その分、休みの日には全力で子どもとの時間を楽しんでいます。私も子どもが何か面白いことをしたり、変化があったときにはすぐに写真を撮って夫にも見せてあげるようにしています。コメントも付けられるので、写真共有アプリはおすすめです。

私自身も仕事がある日はどうしても仕事中心の生活になってしまうので、休日は子どもとの時間を密度濃く過ごすように心掛けています。

夫は帰宅するとすぐ保育園のブログを見て、その日、子どもが何をしていたのか見るのが楽しみみたいです。保育園の先生が、こまめにその日の様子をブログにアップしてくれて連絡帳にもいろいろ書いてくださるので、夫婦でそれを見ながら、感想を話し合ったり、連絡帳の返事を書いたりするのが夫婦の時間になっています。

八木 有紀子
Yukiko YAGI

年齢 41歳 夫 37歳 長男 2歳3カ月 大学卒業後、自動車販売会社に7年間勤務した後、(株)ときわに入社。半年の衣裳部勤務を経て2007年秋から榎野倶楽部のウエディングプランナーに。12年から系列3式場のプランナー、14年から同3式場の営業職も兼務。月2件はプランナーも担当しつつ、社員教育担当も手掛ける。11年 The Master of Bridal Coordinator グランプリ受賞、16年 GOOD WEDDING AWARD ソウル賞受賞。

八木さんへの7つの Question

Q1. お子さまの年齢を教えてください。

長男 2歳3カ月

Q2. 育児・家事のサポートは誰に？

実母です。実家から歩いて3分のところに住んでいます。

Q3. 家事のスタイルは？

夫は洗濯とゴミ捨てを担当してくれています。そのほかの家事は全般的に私なので、毎日少しずつ片付ける派です。いわゆる「～しながら」というか、部屋に何かを取りに行くついでにコードレス掃除機を持って行き、そこだけざつと掃除機をかけるような感じで、何かの合間にちょこちょこ同時進行で家事をしています。

少しでも床にゴミが落ちているのが嫌なタイプなので、散らかして歩く息子の後を追って、こぼしたものを拭いたり、落ちているものを拾ったりしています（笑）。

Q4. 息抜きの時間は？

一つ目は読書、特にミステリーが大好きです。昔から自室の壁一面の本棚に憧れていたため、今回家を新築した時にお願しました。たまにその本棚をみている時間が癒やします（笑）。本の話題でお客さまと仲良くなれることもあり、一石二鳥です。

二つ目はエステに行くこと。職場にも Lohas というエステ部門があり、平日は社員もよく使っています。自分が利用しているので、お客さまにもお薦めしやすいです。リフレッシュタイムを作ると少しでも気持ちに余裕ができるので、なるべくこうした『ご褒美時間』を作っています。

Q5. 家族とのコミュニケーションを深めるコツは？

子どもの家族共有画像アプリ「みてね」を使って、夫婦で子どもの画像を共有し、毎日それぞれコメントを付けて楽しんでます。他には、保育園の連絡帳を読んで必ず感想を言うのが一日の締め恒例です。

Q6. 通勤時間の使い方は？

自家用車通勤で、基本的に式場間の移動も自家用車です。通勤中はTVや音楽を流して、無になる時間に充てています。

Q7. スバリ、家庭と仕事を両立させる秘訣は？

仕事でも育児でも落ち込むことが多く、特に復帰した直後は出産前のように完璧な仕事をしようとして「もう無理!!」とへこむことはよくありました。当時は、仕事で少しでも落ち込むことがあると嫌な空気を出して、子どもにも笑いかけられないことが多かったです。

でも最近は、仕事も育児も自分で完璧を求め過ぎず、何かあれば母や夫、営業部の仲間などに頼るようにしています。



マイブームは趣味のアクセサリ作り。細かい作業を集中して行うことで、その間は悩み事などが忘れられるほか、出来上がった時の達成感がうれしい



「働いている母はカッコいい」
そう思ってくれたら最高！

◎復帰当初のモヤモヤも乗り越えて、今はまた「イキイキ仕事をしている」状態に戻れたんですね。

いや、まだまだ落ち込んだり浮上したり連続です！最近特に気になるのが、息子が魔のイヤイヤ期に入ってきて、もう何をしても時間がかかること。朝、保育園に送っていかうとすると、玄関で大泣きして「イヤ〜!」。連れ出すだけですごく時間がかかって、こっちは仕事があるのに!とイライラしてしまいます。そして後になって「あんなにイライラして子どもに接することはなかったのに…」とへこんだり。きつと過ぎ去ってしまえばいい思い出になるのでしょうかけれど、渦中にいる時はそんなふうには思えません（笑）。

でも仕事も続けていてよかったし、子育てでも大事にしたい。心理的にも物理的にも、本当に母や夫、そして職場の仲間にも助けられていると感じます。会社でバーベキューなどのイベントがあるときに、子ども連れで参加しているのですが、みんなにかわいがってもらってありがたいです。

まだ私が働いているところを息子に見せたことはありませんが、将来息子に「働いている母はカッコいい」と思ってもらいたい。私の父も、自分がホテルや結婚式に関わる仕事をしていたので、私がウエディングプランナーになった時、表にはあまり出さなかったけれどすごく喜んでいました。いつか息子が「ウエディング業界で働きたい」って言うてくれたら、大変だけれどすごくうれしいですね。

